

令和2年2月

普及活動報告



色・形状を吟味する審査員



入賞した4点の小豆

大粒で俵型の小豆が揃う ～第31回瑞穂大納言品評会が開催～ (京丹波町：3日)

品評会に出品された20点の中から、瑞穂大納言の特徴である大粒・俵型・色の鮮やかさを基準に上位4点が選出されました。登熟期の高温が影響したとみられる種皮色の濃赤化が散見されましたが、入賞作品は排水対策等の基本技術が丁寧に行われたものであり、適期作業の大切さが再確認されました。

普及センターは今後も、高品質で安定した小豆生産に向けて支援します。

場 所 JA京都瑞穂支店
出席者数 16名

令和元年 京丹波町小豆生産面積：25.2ha

京丹波町農業技術者会議：京丹波町、JA、農業共済、農業公社、振興局、普及センター等で構成

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告

今年度の黒大豆栽培を振り返って ～黒大豆求評会と研修会を開催～

(京丹波町：5日)



審査員による厳正な審査

今年度は開花期の高温等の影響で、平年に比べて減収傾向でした。そのような厳しい状況にあっても、優れた技術により栽培された黒大豆30点の出品があり、審査員による一次、二次審査を経て、特別賞5点が選出されました。

栽培研修会では、今期の気象の推移とともに、多発した斑状裂皮の原因とその対策について説明しました。

研修会では「かん水のタイミングは？」「今年度でも収量の高かったところの理由は？」など、生産者から様々な質問が挙げられました。普及センターは今後も技術をはじめとした支援をしていきます。



普及員の講演（研修会）

場 所 JA京都丹波支店
出席者数 51名

令和元年度 京丹波町黒大豆栽培面積 62.4ha

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告

ジャンボタニシの防除対策を解説 ～稲作研修会が開催～

(亀岡市：8日)



JA中央会が良食味米生産のポイントを説明

曾我部町農業振興協議会が稲作研修会を開催し、各機関から良食味栽培やほ場整備後の施肥管理、鳥獣害対策等について、普及センターからはジャンボタニシ防除対策について説明しました。

曾我部地区では、現在ほ場整備工事が進んでおり、参加者は改めて水稻生産の基本を学びたいと熱心に聞き入っておられました。普及センターは今後も、ほ場整備後の地域営農を支援します。

場 所 亀岡市曾我部町

出席者数 69名



普及員がジャンボタニシの生態と防除対策を説明

亀岡市曾我部町のほ場整備状況：6集落 227戸 195ha

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告

中小企業応援隊研修会が開催～農業の6次化支援事業を紹介～

(全域：13日)



京丹波町にぎわい創成課・京丹波町観光協会から「地域商社」の概要と取組みを紹介

高齢等による引退で小売業者が急速に減少する中、農業経営者にも商工会への加入を推進するねらいから、今回は農業をテーマとして中小企業応援隊研修会が開催されました。従前は府全域を対象としていましたが、今年度は広域振興局単位で行われました。

当日は、普及センターから農業の6次化支援事業について説明し、京丹波町から「地域商社」の概要、金融公庫から農業事業者向け融資制度、中小企業診断士から農業ビジネスの概要など、幅広い情報提供が行われました。

普及センターは、「農業応援隊」の中核として、各市町の経営支援員の皆さんと今まで以上に連携し、応援隊活動を推進します。

場 所 道の駅 丹波マーケス

出席者数 21名

中小企業応援隊とは、商工会、商工会議所、府中小企業団体中央会、(公財)京都産業21の経営支援員で構成されており、中小企業の経営改善に向けた支援(経営相談、補助金や融資制度の情報提供、セミナーの開催等)を行っています

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告

「祝」栽培に向けた研修会が開催

(京丹波町：13日)



初めての栽培に向け熱心に研修

京丹波町において、来年度から初めて酒造好適米「祝」の栽培に取り組むこととなり、生産予定者（法人含む）7名（5経営体）が参加し、研修会が開催されました。普及センターからは品種の特徴や高品質栽培に向けた技術について、肥料メーカーからは土づくり資材や肥料について説明しました。

参加者は、施肥の適期や播種機、乾燥機の使い方等について熱心に質問していました。普及センターは、今後もJAと連携しながら、良質な京都産酒米の確保に向け支援していきます。

場 所 JA京都丹波支店
出席者数 17名

令和2年度 京丹波町における「祝」作付け目標面積：4ha

令和2年2月

普及活動報告

良品生産に向けてポイントを確認～JA京都美山支部が伏見甘長とうがらし研修会を開催～

(南丹市：14日)



栽培管理の注意点を確認

今春以降の栽培に先立ち、良品生産に向けて定植までの準備を中心に、昨年の反省等を踏まえた病害防除や栽培管理の注意点について理解を深めました。

また、JAから後作としてブロッコリー栽培の提案がありました。

普及センターは今後も引き続き、生産量の確保と品質の向上に向けた取組みを支援します。

場 所 JA京都美山支店
出席者数 16名

令和2年度 南丹市美山町における伏見とうがらし栽培者は14名の予定

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告



普及センターから報告・講習

おいしいお米づくり研修会を開催 ～京都丹波米良食味推進協会～

(全域：18日)

おいしいお米コンテストの表彰式の後、研修会が開催されました。普及センターは、おいしいお米実証ほの結果報告と、ジャンボタニシ防除について講習を行いました。

良食味米栽培に関心の高い多くの農家が参加され、表彰式、研修会とも盛大かつ熱心に行われました。

場 所 農林センター

出席者数 120名

ジャンボタニシは亀岡市、南丹市の一部で被害（田植直後の苗の食害）が出ており、繁殖力がたいへん強いことから、拡大が懸念されています

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告

～実践農場で新たな農業者が誕生～ 南丹市で研修修了式が開催

(南丹市：20日)



修了証書の交付

普及センター所長から修了証書を手交した後、修了生から「内容の濃い2年間だった。就農後も作業バランスを考えながら農地を増やし、いろいろなことにチャレンジして自分に合った経営を目指したい」と就農への抱負が述べられ、技術指導者、後見人及び関係機関から激励の言葉をいただきました。

普及センターは今後も、修了生の経営安定に向けて支援を行っていきます。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 12名

実践農場（準備型）は、亀岡市で3名、京丹波町で1名が研修中

京都府南丹農業改良普及センター

令和2年2月

普及活動報告



栽培のポイント等を説明



熱心に耳を傾ける生産者

特産キュウリの生産振興に向けて ～園部町のキュウリ生産者が栽培研修会 を開催～ (南丹市：27日)

3月下旬からのキュウリの栽培に向け、普及センターから、定植時の技術的なポイントや害虫防除に使用する殺虫剤の特性など、栽培上注意すべき点について、JAからは販売実績などについて説明しました。

参加者からは、去年の害虫防除対策や殺虫剤に対する意見が出るなど、栽培に取り組む意気込みが感じられました。普及センターは今後も、良品生産に向けJAと連携し、ほ場巡回や助言・指導に務めます。

場 所 JA京都園部黒田支店
出席者数 18名

南丹市園部町 令和元年度キュウリ出荷量：約63t

京都府南丹農業改良普及センター